

■地域新エネルギービジョンの目的

奥出雲町では、「地球温暖化対策地域推進計画」などを策定して、省エネルギーなどの取り組みを行っているところですが、平成21年度より新エネルギーへの取り組みの第一歩として、「地域新エネルギービジョン」を策定しました。

このビジョンでは、奥出雲町最大の地域資源である森林資源を活用した木質系バイオマスエネルギー利用を中心とする「奥出雲らしい新エネルギー」を導入するための基本方針と重点的に取り組んでいくプロジェクトを設定しました。

今後はこのビジョンに基づき、新エネルギーの導入を推進し、地球温暖化防止対策だけではなく、雇用創出や森林保全などを図っていきます。

奥出雲町におけるエネルギー消費量

■自動車による消費が多い

奥出雲町におけるエネルギー消費量は、年間で約133万GJ（ドラム缶約17万3千本分）です。特に運輸部門が多く、ガソリンや軽油等の自動車燃料が町全体のエネルギー消費量の約45%を占めています。

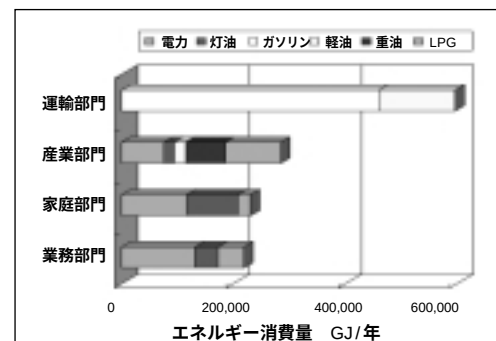
※「GJ」はエネルギー量の単位で、「1GJ」は石油約26リットルに相当します。

地域新エネルギービジョン策定

- ・エネルギー使用実態調査
- ・新エネルギーの賦存状況、活用可能性調査
- ・全体ビジョン策定
- ・重点プロジェクトの検討

- 詳細検討
- 事業化可能性調査

新エネルギー設備の導入

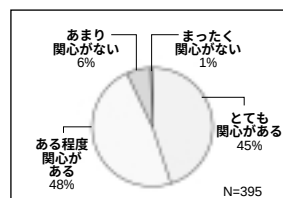


アンケート調査から見る 町民の皆さんの意向

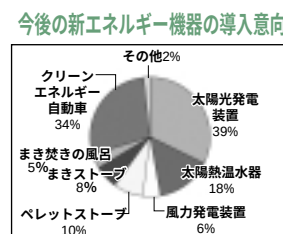
昨年10月に町内各世帯（1200世帯）と事業所（50事業所）を対象にアンケート調査を実施しました。（対象者は無作為で抽出）

■高い関心度と意向

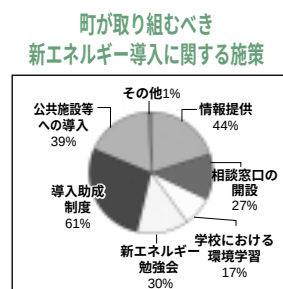
○近年のエネルギー問題や地球環境問題に対しては、9割程度の方が認識され、高い関心を持たれていることがわかりました。



○今後の新エネルギー機器の導入意向については、太陽光発電装置、クリーンエネルギー自動車などが多く挙げられています。



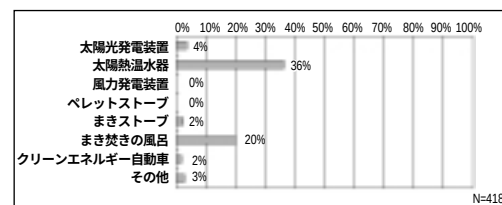
○町が取り組むべき新エネルギー導入に関する施策に対しては、導入助成制度や情報提供、公共施設等への導入などが多く挙げられていました。



○新エネルギー機器の導入状況は

「太陽熱温水器」が最も多く、全体の36%を占めました。

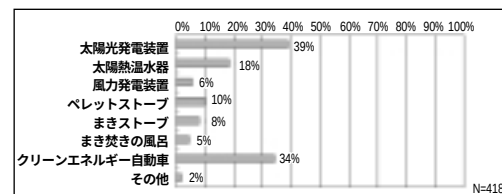
次いで、「まき焚きの風呂」が多く、全体の20%。それ以外の機器は、いずれも5%未満でした。



○今後の新エネルギー機器の導入意向は

「太陽光発電装置」が最も多く、全体の39%を占めました。

次いで、「クリーンエネルギー自動車」が多く、全体の34%を占めました。



みんなで取り組む省エネのまち!! 奥出雲町地域新エネルギービジョンを策定

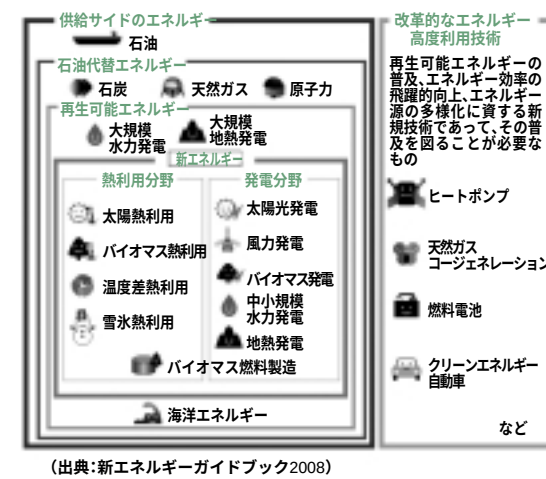


奥出雲町では、地球環境へ配慮した「持続可能な社会の形成」を目指し、「新エネルギー」の導入と普及に取り組むため、『奥出雲町地域新エネルギービジョン』を策定しました。策定にあたっては、これまで4回の策定委員会やアンケート調査、先進地調査等を実施しました。今回は、新エネルギーと『奥出雲町地域新エネルギービジョン』について紹介します。

新エネルギーとは？ その目的は？

私たちの生活に欠かせないエネルギー資源の96%は海外に依存しており、世界的にもエネルギー消費量は年々増え続けています。このエネルギー消費量の増加により、地球温暖化が加速し、食料・水資源の不足、異常気象の多発、生態系の崩壊などが懸念されています。

これらの課題を解決する対策としてエネルギー消費量の削減と、化石エネルギーに代わる“新エネルギー”の導入が求められています。



■新エネルギーとは

石油、石炭、天然ガスなど化石エネルギーに代わる再生可能なエネルギー。

今まで捨てられていた資源やエネルギーを有効に利用するバイオマス利用や廃棄物利用、さらに今までよりクリーンで効率良く化石燃料を使うクリーンエネルギー自動車、燃料電池などが「新エネルギー」として考えられています。

また、無尽蔵で枯渇の心配がなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない太陽光発電、太陽熱利用、雪氷熱利用、小水力発電などがあります。